

◆未来型図書館等複合施設の整備費について

**Q** 未来型図書館プロジェクト建設費105.3億円という高額な建設費に対し、一部から高すぎるという声、指摘がある。しかし、この複合施設は単なる図書館機能だけでなく、博物館機能も持ち合わせ、小松の未来を創造するレガシーと思っている。全ての市民の居場所、誰もが安心して過ごせる場所と考える。施設整備費の市の負担額は。

**A** 防衛省に対して、公共施設整備の支援強化を要望し、これまで定額補助であったものが定率補助、補助率3分の2へと見直され、結果、約34億円の補助適用を見込み、市の実質負担額も基本計画策定時を約1.4億円下回る約30.1億円の圧縮される見通しである。

◆未来型図書館等複合施設の管理運営費について

**Q** 本市が導入するPFI方式、SPCとは。コスト削減の余地は。

**A** 長期にわたり安定した運営とコストの最適化を図ることができる方式で、設計・建設・管理運営を一括して性能発注する手法。

事業全体を総括する特別目的会社（SPC）を設立することで、責任とリスクが一元化され、総合的なコスト削減にもつながると期待する。

**Q** 未来型図書館が目指すコンセプトは。

**A** 市民や事業者、大学、行政など、多様な主体が共に学び、考え、試みる、共創型の図書館を目指す。

◆物価高騰対策について

**Q** 市長は国からの重点地方交付金をどの分野に優先するか。

**A** プレミアム付商品券やマイナポイントの発行等を含め広く検討し、速やかに政策立案を進めたい。

**Q** 令和8年4月より国は小学校給食の無償化を実施予定。浮いた給食費で新たな子育て支援を。

**A** 国費の補助が得られた場合の対応について検討する。

**Q** 家計への負担軽減にスピード感を持って予算措置できないか。

**A** 既に検討を始めており、速やかに補正予算案として取りまとめ、年明け早々に市議会臨時会の開催をお願いしたいと考える。

市長、市民のため共に働いていきたいと思います!!



かわさき じゅんじ  
川崎 順次  
議員

一括質問



動画でチェック

◆防衛装備品関連産業の誘致と地域産業強化に向けた取組

**Q** 小松市の産業立地環境と国の動向について。

**A** 空路や陸路による抜群のアクセスを有し、高い技術力を持つ製造業が古くから集積されているなど、産業立地環境は優れている。国においては、防衛装備品の輸出についての現行ルールを撤廃する方向で協議されているほか、防衛産業を含む17分野を戦略分野に掲げ、設備投資を促す方針を示している。

**Q** 防衛装備品関連企業への誘致策について。

**A** 企業立地支援制度について、内容の見直しや、交付要件の緩和などにより、多様な企業が進出しやすく、継続的な事業運営に対し支援を実施するように改正を行った。

◆防災庁地方拠点誘致と災害対応強化の取組について

**Q** 防災庁地方拠点誘致に向けた市の姿勢について。

**A** 非常時のリスク分散や太平洋側での有事の際の政府機能のバックアップとして、同時被災の可能性が少ない日本海側に地方拠点を設けるべき。インフラの充実や小松基地との連動の可能性といった面からも、小松空港周辺が唯一無二の場所と考えている。国の動向を引き続き注視していきたい。

**Q** 多機能連携について。

**A** 国・県・自衛隊・警察・民間企業などの関係機関とは、平時から防災訓練などでコミュニケーションを図り、実効性のある体制の構築に努めている。発災直後の物資などの供給の安定化を図るため、民間企業との新たな協定締結を検討している。

**Q** 目指す将来像について。

**A** 2027年度以降の設置が取り沙汰されている防災大学校について、防災庁地方拠点と合わせた誘致活動についても検討したい。地域一体となって防災力を高め、その防災力を活かしながら、空港周辺のまちづくりを展開していきたい。

企業誘致と地域産業強化に向けて



うめだ としかず  
梅田 利和  
議員

一括質問



動画でチェック

こまつの魅力アップと  
安心安全なまちづくり



なかにし はじめ  
中西 肇  
議員

一括質問



動画でチェック

◆小松空港を活用したまちづくり

**Q** 小松空港ターミナルビルの改築について。

**A** 小松空港ターミナルビル基本構想検討会議では、ターミナルビルの機能強化や空港運営等への民間活力・知見の導入について検討し、利便性や快適性を高める機能やにぎわい創出等について議論された。本市からは、県の行政庁舎の合築を提案している。

**Q** アリーナ構想の進捗状況と今後の展望について。

**A** 令和4年に当時の北國フィナンシャルホールディングスから民設民営のアリーナを核としたプロジェクトが打ち出された。事業者は、建設費の高騰を理由に民設民営を断念し、官民一体での事業実現に方向転換。令和7年10月、民間主体での建設を否定する報道がされた。アリーナ構想を勘案して産業団地を売却した経緯があるため、事業者都合による計画変更で空港周辺のまちづくりに影響があつてはならない。今後、活用策の検討を進めたい。

◆下水サーベイランスについて

**Q** 下水モニタリングによる感染症流行情報発信について。

**A** 令和3年、本市と金沢大学等による下水疫学実証研究を開始。国の実証事業を経て、令和4年11月から下水モニタリング情報を発信。今後、新たなウイルスに関する分析精度を検証するなど、安心して暮らせるまちを目指す。

◆小松辰口線について

**Q** 主要地方道小松辰口線の軽海町～遊泉寺大橋間の交通安全施設整備は、十分か。

**A** 道路管理者である石川県が、注意喚起を促す標識や路面標示等を順次設置する予定である。横断歩道、信号機等の設置は、地元住民の意見を聞きながら石川県と公安委員会に交通安全対策を要望する。

**Q** 市道遊泉寺中海線の川尻橋の早期完成及び事業完成セレモニーについて。

**A** 令和8年に橋梁が完成し、その後、取付道路等の工事を進める予定。開通式は、関係者や地元住民の意向をまとめ、事業者である石川県に伝える。

農山村地域における脱炭素推進活動と  
荒廃農地有効活用について



ひらた ひろとも  
深田 博智  
議員

一括質問



動画でチェック

◆脱炭素推進活動の取組について

**Q** 2021年8月にゼロカーボンシティ宣言して以降、小松市ではどのような取組を行ってきたか。

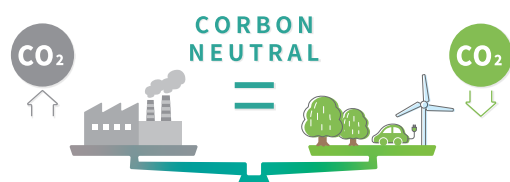
**A** 小松市役所では、公用車のEV車など低公害車への切替えや、公園・道路照明を含む公共施設のLED化、またエコロジープークこまつのごみ焼却熱を活用し、発電したカーボンフリー電気の市庁舎・病院への供給に加え、市庁舎へのカーボン・オフセット都市ガスの導入を行っている。

また、市民向けに住宅用蓄電システムや、薪ストーブなどの導入に対する再生可能エネルギー設備設置費に対する補償のほか、町内会にはLED防犯灯の支給を、事業者向けには省エネに向けた設備導入支援を展開している。

**Q** その効果と実績は。

**A** 本市におけるCO<sub>2</sub>排出量と削減率は、基準年の2013年では排出量122万2,000トンに対し、5年後の2018年度の比較では排出量が102万5,000トンの削減率16.2%、直近の2022年度の比較では、暫定値となるが排

出量が90万3,000トンとなり、削減率は26.1%と、着実に削減が進んでいる。ただ一方で、本市の5年後である2030年度の50%削減目標を達成するためには、さらなる脱炭素化の取組が必要であると認識している。



◆荒廃農地有効活用について

**Q** 早成日本桐とは何か。

**A** 品種改良により日本古来の日本桐から生まれた特殊な桐で、従来の品種よりも数倍も速いスピードで成長し、5年で伐採、利用可能な大きさに成木化するものである。

**Q** 本事業の効果と期待は。

**A** 地球温暖化対策や耕作放棄地の活用、地域の経済循環など、里山地域における複数の社会課題を同時に解決できるのではないかと考えている。

◆未来型図書館建設について

- Q** 年間目標来館者数を40万人と設定しているが、必要となる駐車台数は。
- A** 周辺の既存駐車場は260台。平日268台、休日308台が必要と試算している。
- Q** 専用駐車場が必要ではないか。
- A** 休日は市職員駐車場の活用を考えている。開館後の実際の利用状況を踏まえ、慎重に検討する。
- Q** 駐車場不足がもたらす影響と改善策は。
- A** 周辺道路の混雑が予想されることから、案内・誘導の強化やイベント開催時間の工夫などで、安全安心な交通アクセス対策を進める。
- Q** 短期的・中期的な公共サービスの縮減・低下の懸念は。
- A** 市民サービスの充実につながる事業であり、他の公共サービスを縮減・低下させる考えはないが、時代やニーズに応じた見直しは必要。

◆高齢者の健康増進の支援

- Q** 千松閣廃止に伴う類似施設の検討は継続しているのか。

- A** 高齢者のみを対象とした施設を新設する考えはない。生きがいづくりができる場所として、未来型図書館等複合施設がその機能を果たすと考えている。
- Q** 湯ったりシニアふれあい入浴助成券の今年度の利用状況は。
- A** 利用上限を20回に増やし、上半期は前年比で約200人増加。
- Q** 入浴助成券の利用可能な浴場施設の拡大は。
- A** 地域で偏りのないことが望ましいと考えており、浴場組合と協議している。

◆能登半島地震による下水道復旧工事について

- Q** 発注状況と入札不調について。
- A** 60%が発注完了。汚水を流しながら工事を行う施工面や衛生面、県内の災害復旧需要の急増が影響し、入札不調が発生した。
- Q** 全ての復旧工事の完成時期は。
- A** 令和9年度の第1四半期までに全ての工事を完成できるように努める。

未来型図書館建設で不足する  
駐車場の増進の支援について  
高齢者の健康



むらなか ひろし  
村中 洋  
議員

一括質問



動画でチェック

◆PFI手法選定と将来財政状況は

- Q** なぜ特定目的会社（SPC）方式なのか。
- A** SPCは複数企業を束ねて窓口を一本化し、設計段階から運営や維持管理を見据えた提案により、長期的なコスト削減とサービス向上を実現できる。また、倒産隔離による事業への影響を最小限に抑えられる。
- Q** 従来管理費と当計画の比較は。
- A** 年間運営費は、既存施設で約1.8億円である。新施設は、機能拡充や開館時間の増加、ライフサイクルコストの考え方を踏まえ、約4.61億円である。
- Q** 3年間の開館準備費用内容は。
- A** 企画運営会議の開催や新たな図書の調達、職員研修や広報等を見込む。
- Q** 運営費（債務負担行為に充てる）と財政指標動向は。
- A** 実質公債費比率がプラス0.8、将来負担比率がプラス8.9程度の影響、健全化判断比率は早期健全化基準を上回らない見込み。

**Q** 総合プロデュース人材活用と未来型図書館への思いは。

- A** SPCに総合プロデューサーを配置し、市民との共創によるまちの総合サービス拠点へと押し上げることを期待している。市民1人1人の豊かな時間の積み重ねこそが、本施設の成果になるものと捉えている。

◆小松市の具体的な物価高対策は

- Q** 重点支援地方交付金の追加額と本市が取り組む物価高対策事業は。
- A** 自治体が使途を決められる重点支援地方交付金に2兆円が計上された。本市では、プレミアム付き商品券やマイナポイント発行の再実施を検討している。

◆道路補修管理の通報アプリ

- Q** 道路維持管理体制DXの状況は。
- A** 道路維持管理アプリの導入を検討し、実証実験を行っている。
- Q** 市民からのLINE通報システムの導入の考えは。
- A** アプリの利便性がさらに高まれば導入を検討したい。

未来型図書館等複合施設について



かたやま しんじろう  
片山 瞬次郎  
議員

一括質問



動画でチェック

誰もが参加できるスポーツ  
と小松准看護学院について



さいとう かずみ  
齋藤 和美  
議員

一括質問



動画でチェック

◆誰もが参加できるスポーツの推進について

**Q** 障がい者スポーツや共生型スポーツを継続的に普及していく考えはあるか。

**A** 障がい者スポーツの推進は、多様性を認め合い、共生社会の実現の観点からも重要なテーマであると捉えている。関係団体と連携を図りながら、障がい者スポーツや共生型スポーツの普及促進と情報発信に努めていく。

**Q** 座位バレーボールの全国大会の誘致の考えはあるか。

**A** 本市では、高速道路・新幹線・空港があるアクセス性の良さを生かし、各種競技の全国大会の誘致を行っているところである。今後、座位バレーボールが継続的に活発に行われるようになれば、補助要綱に従って支援していく。

◆准看護学院の安定した人材確保について

**Q** 准看護学院が地域医療に果たしている役割をどのように捉えているか。

**A** 看護人材は、病院や診療所、介護や福祉施設、こども園や放課後等デイサービスなどでも必要とされる人材であり、学院は重要な機関であると捉えている。

**Q** 学院の運営について、どのような話し合いが進められているのか。

**A** 看護の専門性と防災の観点の相互作用により、災害支援が新たな入学動機の視点となり得る可能性について話し合われている。

**Q** 入学者確保のための新しい取組の必要性について。

**A** 市内にとどまらず、南加賀や県内全域の関係機関との一層の連携が必要。それぞれの分野の資格取得に准看護師の資格は有益である点など、具体的なイメージが描けるような発信も必要である。多岐にわたる分野で活躍できる点についても、学生から社会人、防災士をはじめとする地域で活躍する幅広い方々に対して伝えていくことが求められる。

春に続いて秋まで！今が  
「勧進帳のふるさと・小松」の  
分岐点



よしもと しんたろう  
吉本 慎太郎  
議員

一括質問



動画でチェック

◆「勧進帳のふるさと・小松」について

**Q** 来春で終了となる「日本こども歌舞伎まつりin小松」と同時に、「中学校古典教室」も来秋の開催が見送りとなった。官民一体となって、上演機会の堅持を図るべきでは。

**A** 古典教室については、小学校、高校との連携も検討し、令和9年度からの新たな上演方法を模索する。勧進帳についても、新しい取組と合わせ、一体的に検討を行う。



来年度の開催が見送りとなった中学校古典教室

◆未来型図書館について

**Q** イメージが想起しにくい「未来型」に代わる新しい呼称を。

**A** 「未来型」の名称は本施設の理念を的確に反映しており、その内容や役割を丁寧に説明し、市民理解につなげていきたい。

**Q** 図書館構想には「市民活動の機能の場」とある。ならば、市民団体への活動助成制度を廃止せず、さらなるバックアップで活動機運の醸成を。

**A** 地域貢献活動を行う市民団体等の設立支援という初期の目的が達成されたと判断し、代替の助成制度の設立は考えていない。

◆昨今多発する火災被害について

**Q** 発生原因を検証し、さらなる被害を未然に防ぐための対策・啓発を。

**A** 消防団と緊密に連携し、地域に根差した初期対応をさらに充実させていく。

◆アリーナ構想の今後について

**Q** 現状は厳しいが停滞は許されない。未来にどうつなげていくのか、市の所見を問う。

**A** 空港周辺のビジョンと整合する形での活用策について、今後しっかりと検討を進めていきたい。